

# メルロ＝ポンティ・サークル第20回大会

日時：2014年9月20日（土）10:30-17:30

場所：大阪大学人間科学研究科・人間科学部

共催：大阪大学大学院人間科学研究科・基礎人間科学講座・現代思想専攻

## 個人発表

本館41教室 司会：國領佳樹

10:30-11:15 酒井麻依子（立命館大学）現れる他者・消える他者—ソルボンヌ講義「他者経験」をめぐって

11:15-12:00 小倉拓也（日本学術振興会特別研究員 明治大学）

担われなければならない肉—故メルロ＝ポンティへの老ドゥルーズの最後の一瞥をめぐって

本館44教室 司会：八幡恵一

10:30-11:15 佐野泰之（京都大学）メルロ＝ポンティにおける〈語られた言葉〉の問題

11:15-12:00 赤阪辰太郎（大阪大学）サルトルを読むメルロ＝ポンティ—『文学とは何か』をめぐって

本館41教室 司会：澤田哲生

13:00-13:45 玉地雅浩（藍野大学）他者とのやり取りを支えるもの—メルロ＝ポンティのリズムから考える

13:45-14:30 篠塚友香子（大阪大学）精神科病院における看護師と患者の空間経験

本館44教室 司会：山下尚一

13:00-13:45 横田仁（首都大学東京）メルロ＝ポンティにおける表現としての哲学—ベルクソンの非改宗の解釈を通じて

13:45-14:30 西岡けいこ（香川大学）「絵画の媒体性」と「まなざしの歴史性」

(14:40-15:00 本館51教室 ビジネス・ミーティング)

15:00-17:30 本館51教室

20周年記念シンポジウム

## メルロ＝ポンティ研究のこれまでとこれから

司会 松葉祥一

加賀野井秀一（中央大学）

デジタルト概念の変遷から見るメルロ＝ポンティ研究の流れ—知覚・時空間・言語・記号性・肉—

澤田哲生（富山大学）

ほつれと浸食—後期メルロ＝ポンティの始まりと展開についての—考察

合田正人（明治大学）

未完の身体—メルロ＝ポンティ、ジゼラ・パンコフ、そして